



地域包括ケアニュース

報告

令和2年度導入研修報告(地域包括ケアコース)



講師:板東
(地域包括ケア委員長)

今回の導入研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの開催が難しく「会場参加型研修会における感染予防ガイドライン(日本言語聴覚士協会)」に準じて実施しました。

当日は8名の参加があり、地域包括ケアシステムや自立支援型地域ケア会議における言語聴覚士の役割を共有することができました。県士会としては、自立支援型地域ケア会議や通いの場への関与などを含めた活動に対して、バックアップ体制づくりを進めています。今後の活動について質問等ありましたら、各圏域の地域包括ケア委員にご相談下さい。最後に、快く会場や設備をお貸しいただきました国際医療看護福祉大学校様に深く感謝申し上げます。

研修では、地域包括ケアシステムや介護保険制度などの基礎知識から、実際の事例を用いたグループワークを通して、会議に臨む姿勢やSTとしての観察のポイントなどを学びました。実際に、自立支援型地域ケア会議に助言者として出席してみても、平易な言葉やポイントを絞った伝え方は、知識がなければ難しいことを痛感しました。過去の事例や、助言内容を参考に、地域づくりの支援ができればと思います。
(竹田総合病院:本田友子さん)



次回からのケア会議に参加するにあたり、参加しました。専門以外の幅広い基礎知識の大切さを再確認しました。また、グループワークでは、質問・助言など専門職ならではの見方や具体的なエピソードで質問すると、他職種にイメージしやすくなるテクニックも知ることができました。導入研修で学んだことを自分の出席する会議で生かしていきたいと思いました。
(ひらた中央病院:小山敏弘さん)



『リハビリテーション介護予防テキスト2019』のご紹介

【助言者の方】 OneDrive参照ください
「2020地域包括ケアフォルダ」
→「便利ツールフォルダ」
→「2019作成フォルダ」

【会員の皆様】
皆さんがデータを確認できるよう現在検討しています。
少々お待ちください。

2019年度に福島県リハビリテーション専門団体協議会より、「リハビリテーション介護予防テキスト2019」が作成されました。福島県言語聴覚士会からは、板東委員長、大野委員、佐藤委員の3名を中心に資料作成が行われ、とても見やすく(オシャレに!)素晴らしい内容となっています。地域の実際の活動に活用できるものです。次のページに、各委員からのコメントと内容を紹介しします。

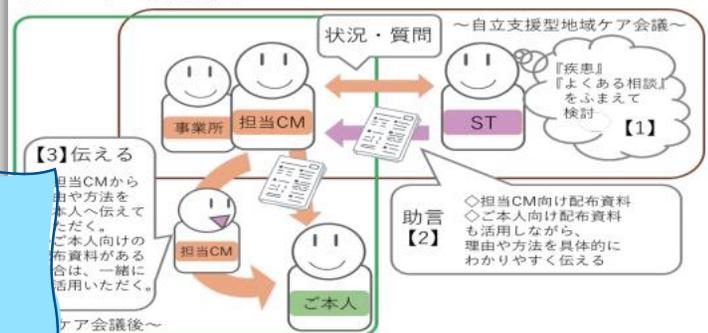
リハビリテーション 介護予防テキスト 2019

日程	
会津地域 2019年11月17日(日)	会津健康センター
県中地域 2019年12月8日(日)	ビッグレインツクリスタ
相模地域 2019年11月18日(土)	海防町内務保健文化センター
県南地域 2019年11月29日(日)	サンフレックス日本
いわき地域 2019年11月29日(土)	いわき東急ホテル 会議棟
県北地域 2019年11月29日(土)	海防町内務保健文化センター

～目次～

- I. 総論 1p.
- II. フレイルとは 2p.
- III. 介護予防におけるリハビリテーション専門職の役割 4p.
- 福島県理学療法士資料 7～44p.
- 福島県作業療法士会資料 45～86p.
- 福島県言語聴覚士会資料 87～134p.

○テキストの使用方法について



- 1. 疾患の特徴・視点
- 2. よくある相談への対応のコツ
- 3. 今すぐ活用！実践できる資料集

